

Remote ReplyCall

リモートリプライコール

取扱説明書

■はじめに	1
■製品紹介	
送信機	1
受信機	3
充電器	3
中継機	3
■送信機の使い方	4
■受信機の使い方	7
■中継機の使い方／機能設定	9
■送信機の機能設定／詳細設定	10
■受信機の機能設定／詳細設定	11
■メッセージデータの書き換え	15
■チャンネル設定	17
■仕様	17
■お手入れ方法	18
■故障かな？と思ったら	18
■安全上のご注意	18
■保証とアフターサービス	19

はじめに

リプライコールの性能を更に強化。これまでの通信距離を大幅に拡大し、お客様が近隣にいなくても呼び出しができるようになりました。音・振動に加え、文字情報（32文字以内）で確実にお知らせ。大型ショッピングモールやアミューズメント施設等での呼び出しに最適です。

新無線技術を採用!通信距離が飛躍的に拡大!

LPWA (Low Power Wide Area=消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式) の一つとして注目を浴びている新無線技術ARIB STD-T108規格対応のアクティブ無線システムを採用。920MHz帯の電波なので電波の到達エリアが広く、障害物があっても回り込んで届きます。中継器（最大2台まで）を利用すれば通信可能エリアはさらに広がります。

32文字メッセージを送信

受信機画面には全角文字で最大32文字のメッセージを表示できます。メッセージはPCアプリで自由に作成でき、256通りまで登録可能です。

通信料は無料! ローコストで運用できる

無線局免許を必要としない周波数帯（アンライセンスバンド）を使用する特定小電力無線だから通信料は不要。機器の消費電力も極めて小さく、低コストでシステムを運用できます。

受信機は最大999台まで利用可

送信機には複数の受信機を登録し呼び出せる機能が搭載されています。1台の送信機に対し、最大999 台の受信機を紐付けすることができます。

製品紹介 各部の名称と機能

送信機

ロッドアンテナ

ロッドアンテナを装備。
角度を調整できます。

メッセージ用テンキー

登録メッセージの
番号入力に使用します。

呼び出し用テンキー

呼び出したい受信機の
番号入力に使用します。

液晶画面

呼び出したい受信機の番号・受信状況・
文字メッセージを表示します。

電源スイッチ

電源のON / OFFに使用します。
電源をONにする場合は短押し、
OFFにする場合には長押しします。

電源LED (赤色)

ミニUSBコネクタ

PC接続でメッセージ書き込みに
使用します。

ACアダプタ (6V)

送信機本体と接続後、
コンセントに差し込んで使用します。

ディップスイッチ

各設定に使用します。

ACアダプタ接続口



■送信機の画面

送信機には、「呼び出し入力」画面と「呼び出し状況」リスト画面が表示されます。2つの画面を「←/→」キーで切り替えながら、呼び出し操作や、呼び出し状況を確認します。

メッセー ジ 番 号 を						呼 出 状 況		
入 力 し て 下 さ い						①	---	---
						②	---	---
						③	---	---
						④	---	---
						⑤	---	---
メ ッ セ ー ジ No						⑥	---	---
呼 び 出 し No						⑦	---	---

操作ガイド

入力ガイド、呼び出し状態を表示します。

メッセージ

メッセージ番号に対応した文字列 (32文字) を表示します。



呼び出し中には、左のような画面表示になります。

呼 び 出 し が						呼 出 状 況		
完 了 し ま し た						①	999	待 ち
ご 注 文 の 品 が						②	225	完 了
で き あ が り ま し た						③	1	待 ち
受 取 口 ま で						④	3	待 ち
お 越 し く だ さ い						⑤	444	異 常
メ ッ セ ー ジ No 2 5 6						⑥	235	完 了
呼 び 出 し No 3 2 1						⑦	631	完 了

→メッセージ番号 呼び出し番号←

→呼び出し状況リスト

呼び出し番号と、呼び出し状態を表示します。

■入力キー

メッセージ用キー

登録メッセージ (256種) の番号を入力します。

↑/↓キー

メッセージ番号の選択及び「呼び出し状況リスト」①～⑦の選択に使用します。

呼び出し用キー

呼び出したい受信機の番号を入力します。

←/→キー

「呼び出し入力」と「呼び出し状況リスト」を切り替えます。



クリアキー (Cキー)

入力中の受信機番号を1つ消去します。又、呼び出し状況リストの消去にも使用します。

呼出キー

新規呼び出し、再呼び出しに使用します。

クリアキー (Cキー)

入力中の登録メッセージ番号を1つ消去する際に使用します。

オールクリアキー (ACキー)

入力中の登録メッセージ番号をすべて消去する際に使用します。

決定キー

選択したメッセージ番号を決定します。

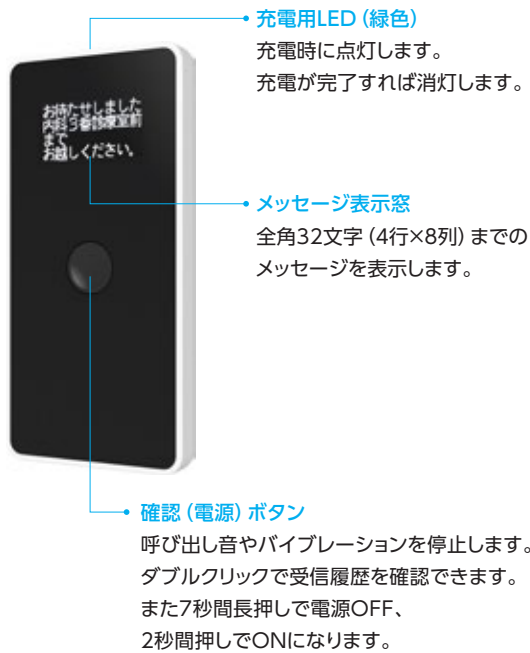
オールクリアキー (ACキー)

入力中の受信機番号をすべて消去します。

■入力キーの機能一覧

	送信機画面の状態		
		「呼び出し入力」中	「呼び出し状況リスト」中
メッセージ用	[0~9]	有効:メッセージ番号入力中の番号入力用	無効
	[決定]	有効:メッセージ番号選択の決定	無効
	[↑]	有効:メッセージ番号の選択アップ用	有効:「呼び出し状況リスト」①～⑦の選択アップ用
	[↓]	有効:メッセージ番号の選択ダウン用	有効:「呼び出し状況リスト」①～⑦の選択ダウン用
	[C]	有効:入力中メッセージ番号の1桁消去	無効
	[AC]	有効:入力中メッセージ番号の全て消去	無効
呼び出し用	[0~9]	有効:呼び出し番号入力中の番号入力用	無効
	[呼出]	有効:新規呼び出しまたは、再呼び出し用	有効:選択中の「呼び出し状況リスト」の再呼び出し用
	[C]	有効:入力中呼び出し番号の1桁消去用	有効:選択中の「呼び出し状況リスト」の消去
	[AC]	有効:入力中呼び出し番号の全て消去用	無効
	[⇄]	有効:「呼び出し状況リスト」へ移動	有効:「呼び出し入力」へ移動

受信機



● **電波強度表示**
4段階で受信電波の
強度を表示します。

● **電池残量表示**
4段階で電池残量を
表示します。

● **チャンネル自動切り替え表示**
中継機を使った時に
使用するチャンネルを示します。
ドット表示なし: メインチャンネル
ドットが1つ点灯: サブチャンネル1
ドットが2つ点灯: サブチャンネル2
ドットが点滅: チャンネルサーチ中



● **受信機番号**

□□□□	電池残量が十分な状態。
□□□	電池残量が2/3 程度の状態。
□□	電池残量が1/3 程度の状態。
□	電池残量が極めて少なく、充電が必要な状態。

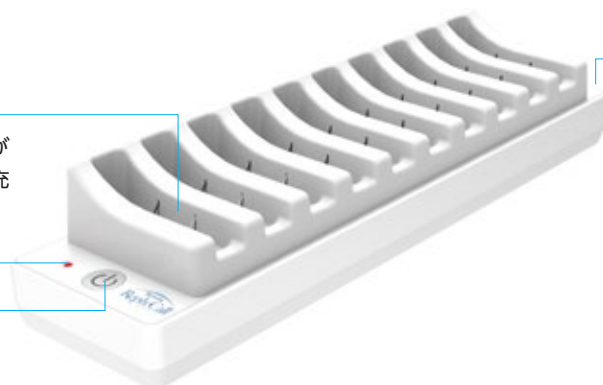
ⅴ.ⅴ.ⅴ.ⅴ	良い受信強度。
ⅴ.ⅴ.ⅴ	やや良い受信強度。
ⅴ.ⅴ	最低限の受信強度。
ⅴ	不安定な受信強度。圏外になり易い。

充電器

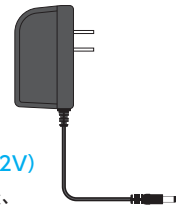
● **受信機差込口**
受信機を設置すると充電が
始まります。一度に10台充
電できます。

● **電源LED (赤色)**

● **電源スイッチ**



● **ACアダプタ接続口 (背面)**



ACアダプタ (12V)
充電器と接続後、
コンセントに差し込んで使用します。

中継機

● **ACアダプタ接続口 (背面)**

● **ステータス表示**
電源や送受信の状況、
チャンネル・機台番号・
受信電波強度を表示します。



ACアダプタ (6V)
中継機と接続後、
コンセントに差し込んで使用します。

送信機の使い方

1 電源を入れる／切る

- ①送信機にACアダプタを接続しコンセントに差し込みます。
- ②自動的に電源がONになります。
- ③最初に本体のアンテナを立ててから、上蓋を開きます。

※電源ボタンを約2秒間長押しすると電源OFFになります。
 ※電源OFF時に電源ボタンを押すと電源ONになります。

電源LEDが点灯し、ブザーが鳴ります。画面には
 ・ソフトウェアバージョン ・設定チャンネル番号
 が表示されます。

F	W	V	e	r	:	1					
C	H	N	o	:	1	5					

※送信機ファームウェア番号は、将来のバージョンアップの際に確認用として使用するものです。通常のご使用時には特に意識していただく必要はありません。
 ※ファームウェア番号表示や設定チャンネル番号の表示は初回電源ON時および各種設定変更時に表示されます。

約3秒後、メッセージ番号入力待ち画面が表示されます。

メ	ッ	セ	ー	ジ	番	号	を					呼	出	状	況
入	力	し	て	下	さ	い						①	---	---	---
												②	---	---	---
												③	---	---	---
												④	---	---	---
												⑤	---	---	---
												⑥	---	---	---
												⑦	---	---	---
												⑧	---	---	---
メ	ッ	セ	ー	ジ	No	-	-	-				⑥	---	---	---
呼	び	出	し	No	-	-	-					⑧	---	---	---

2 受信機を呼び出す

①メッセージ番号を入力する

メッセージ用テンキーの「0~9」ボタンを押して、1~256の番号を入力します。入力すると、番号に対応したメッセージの文字列が画面に表示されます。入力を間違えた場合、メッセージ用テンキーの[C]ボタンを押すと数字を一桁、[AC]ボタンならすべてを消去します。

メ	ッ	セ	ー	ジ	番	号	を					呼	出	状	況
入	力	し	て	下	さ	い						①	---	---	---
												②	---	---	---
												③	---	---	---
												④	---	---	---
												⑤	---	---	---
												⑥	---	---	---
												⑦	---	---	---
メ	ッ	セ	ー	ジ	No	-	-	-				⑥	---	---	---
呼	び	出	し	No	-	-	-					⑦	---	---	---

入	力	後	決	定	ポ	タ	ン	を				呼	出	状	況
押	し	て	下	さ	い							①	---	---	---
			ご	注	文	の	品	が				②	---	---	---
			で	き	あ	が	り	ま	し	た		③	---	---	---
			受	取	口	ま	で					④	---	---	---
			お	越	し	く	だ	さ	い			⑤	---	---	---
メ	ッ	セ	ー	ジ	No	2	5	6				⑥	---	---	---
呼	び	出	し	No	-	-	-					⑦	---	---	---

メッセージ番号は、「↑/↓」ボタンを押すことで切り替えることもできます。

②受信機の番号を入力する

メッセージが決まれば、呼び出し用テンキーの「0~9」ボタンを押して、受信機の番号(1~999)を入力します。
 紐付けされているすべての受信機を一斉に呼び出す場合には0を入力します。
 入力を間違えた場合、呼び出し用テンキーの[C]ボタンを押すと数字を一桁、[AC]ボタンならすべてを消去します。

入	力	後	呼	出	ポ	タ	ン	を				呼	出	状	況
押	し	て	下	さ	い							①	---	---	---
			ご	注	文	の	品	が				②	---	---	---
			で	き	あ	が	り	ま	し	た		③	---	---	---
			受	取	口	ま	で					④	---	---	---
			お	越	し	く	だ	さ	い			⑤	---	---	---
メ	ッ	セ	ー	ジ	No	2	5	6				⑥	---	---	---
呼	び	出	し	No	9	9	9					⑦	---	---	---

*0で一斉送信した場合、確認応答はできません。

③呼び出す

「呼出」ボタンを押すと、選択した受信機の呼び出しを開始します。画面には受信機の番号と呼び出しの状況が表示されます。



呼 び 出 し 中 . . .								呼 出 状 況	
								①	999 呼 中
								②	--- --
								③	--- --
								④	--- --
								⑤	--- --
								⑥	--- --
								⑦	--- --

信号が受信機に到達すると、呼出状況の表示は「待ち」となり、「受信機からの確認応答待ちです」のメッセージが表示されます。

受 信 機 か ら の								呼 出 状 況	
								①	999 待 ち
								②	--- --
								③	--- --
								④	--- --
								⑤	--- --
								⑥	--- --
								⑦	--- --

圏外等で信号が届かない場合は「異常」となり、「呼び出しができませんでした」のメッセージが表示されます。

※呼び出しタイムアウトはP10を参照してください。

呼 び 出 し が								呼 出 状 況	
								①	999 異 常
								②	--- --
								③	--- --
								④	--- --
								⑤	--- --
								⑥	--- --
								⑦	--- --

④呼び出し完了

受信機の方でSTOPボタンが押されると、呼出状況は「完了」となり、「呼び出しが完了しました」のメッセージが表示されます。

呼 び 出 し が								呼 出 状 況	
								①	999 完 了
								②	--- --
								③	--- --
								④	--- --
								⑤	--- --
								⑥	--- --
								⑦	--- --

③ 2件目以降の呼び出し操作

上記①～③を繰り返します。7件まで呼び出しができます。

①同じメッセージで呼び出す

メッセージを変更する必要がなければ、呼び出し用テンキー [0~9] ボタンで受信機番号を入力し、「呼出」ボタンを押します。

②メッセージ内容を変更して呼び出す

メッセージを変更する場合は、メッセージ用テンキー [0~9] ボタンまたは、[↑/↓] ボタンでメッセージを変更し、「決定」ボタンを押した後、「呼出」ボタンを押します。

4 8件目以降の呼び出し操作

① 呼び出し完了リストを自動消去する

8件目の呼び出し操作をし「呼出」ボタンを押すと、呼び出しが「完了」したリストは自動消去され、呼び出しリストは1行分上に繰り上げられます。

入力後	呼出ボタンを	呼出状況
押し下さい		① 999 待ち
ご注文の品が		② 225 待ち
できあがりました		③ 1 待ち
受取口まで		④ 444 待ち
お越しください		⑤ 235 完了
メッセージ No 2 5 6		⑥ 632 完了
呼び出し No 1 2 3		⑦ 632 完了

→

呼び出し中	呼出状況
	① 999 待ち
ご注文の品が	② 225 待ち
できあがりました	③ 1 待ち
受取口まで	④ 444 待ち
お越しください	⑤ 235 完了
メッセージ No 2 5 6	⑥ 632 完了
呼び出し No 1 2 3	⑦ 123 呼中

② 不要な呼出し番号を消去する

呼び出し状況リスト7件すべてが「呼中」「待ち」「異常」で埋まっている場合は、「リストから不要な呼出し番号を消去して下さい」のメッセージが表示されます。

リストから不要な呼出し番号を消去して下さい	呼出状況
	① 999 待ち
ご注文の品が	② 225 待ち
できあがりました	③ 1 待ち
受取口まで	④ 3 待ち
お越しください	⑤ 444 異常
メッセージ No 2 5 6	⑥ 235 完了
呼び出し No 1 2 3	⑦ 632 完了

その場合は、←→で呼び出し状況リストへカーソルを移動し「異常」表示されている不要な呼び出しリストを消去します。↑/↓キーを使って消去するリストを選択し、呼び出し用キー [C] ボタンを用いて消去すれば、8件目のリストが自動的に追加され呼び出しを開始します。

呼び出しが	呼出状況
できませんでした	① 999 待ち
5 5 5 番のお客様	② 225 待ち
の準備が整いました	③ 1 待ち
た受取口まで	④ 3 待ち
お越しください	⑤ 444 異常
メッセージ No 1 2 3	⑥ 235 完了
呼び出し No 4 4 4	⑦ 632 完了

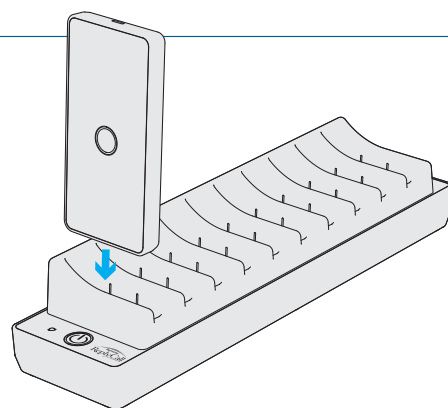
↑/↓キーリストを選び
呼び出し用 [C] ボタンで消去

呼び出し中	呼出状況
	① 999 待ち
ご注文の品が	② 225 待ち
できあがりました	③ 1 待ち
受取口まで	④ 3 待ち
お越しください	⑤ 235 完了
メッセージ No 2 5 6	⑥ 632 完了
呼び出し No 1 2 3	⑦ 123 呼中

受信機の使い方

① 受信機を充電する

充電器にACアダプタを接続しコンセントに差し込みます。充電器のスイッチをONにし、受信機を受信機差込口にセットします。セットすると自動的に充電が始まります。充電中は緑色のLEDが点灯します。LEDは充電状態に応じて「点灯」から「ゆっくり点滅」に変わり、充電が完了すれば消灯します。



② 受信機の電源を入れる／切る

電源（確認）ボタンを約2秒長押しし、電源をONにします。ブザーとバイブレーションが作動し、初期画面の表示後、待受画面となります。

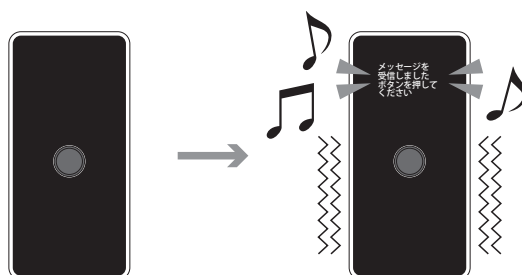
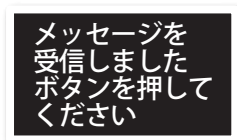
約7秒間長押しすると電源OFFになります。メッセージが残った状態では2秒間の長押し後、メッセージを消去した後に再度、約7秒間長押しをします。

※受信機を充電器から取り外すと、自動的に電源はONになり、待受画面となります。



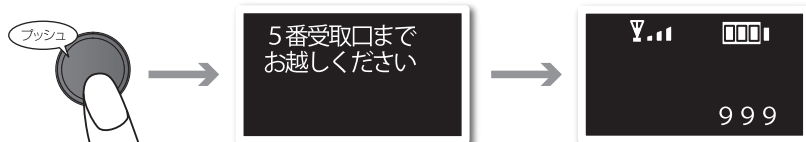
③ 呼び出しがあれば…

送信機から呼び出しの信号を受信すると、ブザーとバイブレーション、画面表示で知らせます（3回繰り返します）。



④ メッセージを確認する

確認ボタンを押すと、メッセージが表示されます。メッセージ表示後、約1分経過すると待受画面に戻ります。



⑤ もう一度メッセージを確認する

確認ボタンを押すと、最新の受信メッセージを表示します。

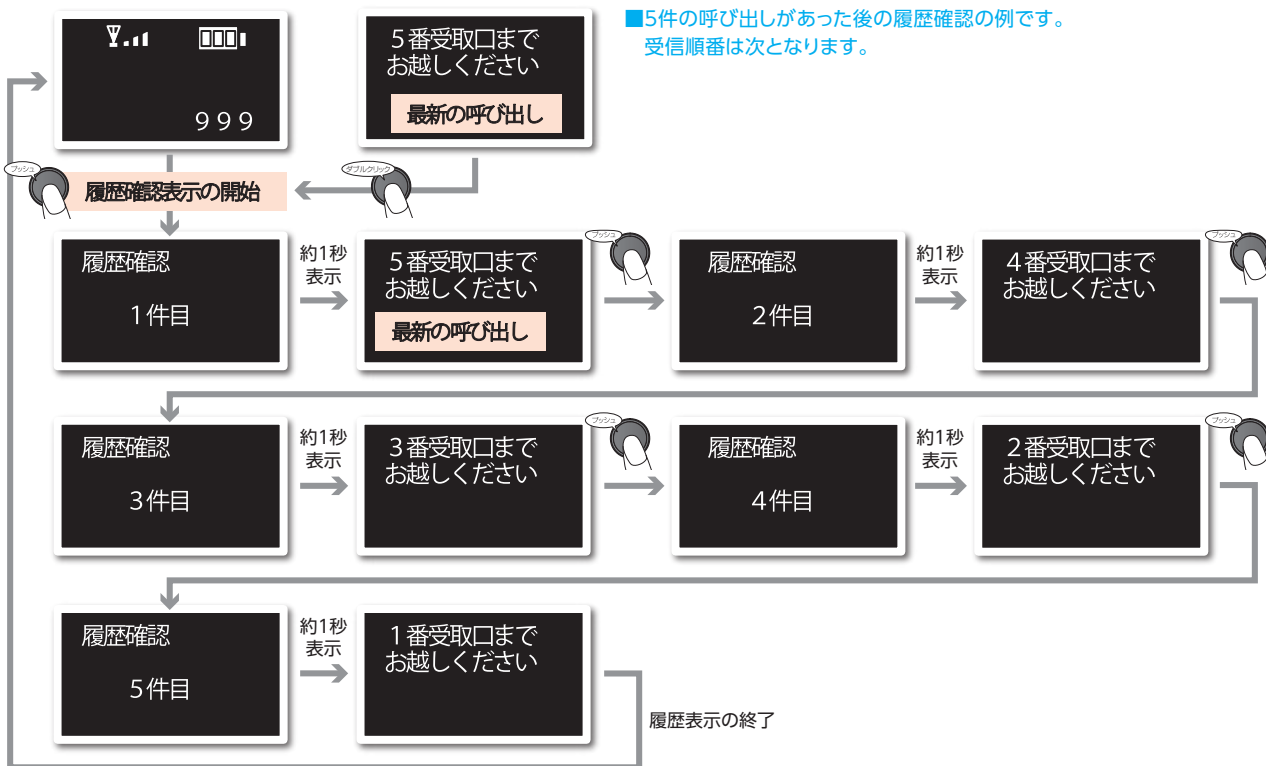


6 メッセージ履歴を確認する

受信機は、最大5件の受信履歴を記録します。確認ボタンをダブルクリックすると、受信メッセージが表示され、その後、ボタンを押すたびに過去に受信したメッセージが、新しいものから順番に表示されます。

6件目の呼び出しがあった場合は、最初に受信した一番古い履歴を自動的に消去し、新規履歴として記録します。

4秒間放置すれば、自動的に待受画面に戻ります。



7 メッセージを消去する

確認ボタンを約2秒長押しするとブザー音が鳴り、すべての履歴を消去します。

※圏外の時は消去できません。

また受信機を充電器に装着すれば、すべての履歴を自動的に消去します。



8 圏外に出ると...

送信機からの信号が届かない「圏外」に移動した場合は、最初に画面表示のみ圏外表示をします。その後約30秒経過するとブザーとバイブレーションで通知します。

圏内に戻るまで、約10秒間隔でバイブとブザーが繰り返し動作します。

確認ボタンを押すとバイブとブザー動作を停止します。

圏内に復帰すれば「圏内復帰」を表示し、3秒後に待受画面に戻ります。



中継機の使い方／機能設定

中継機は、最大2台まで使えます。
 ただし2台とも送信機からの電波が届く場所に設置してください。
 中継機間のホッピング (送信機→中継機①→中継機②→受信機) はできません。



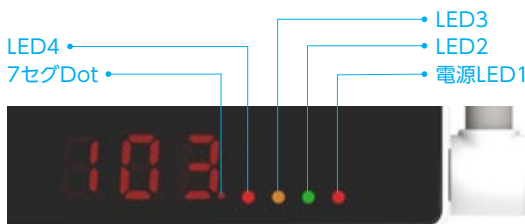
1 設置について

中継機は送信機からの電波が受信機に届かない場合に使用し、通信距離を延長します。
 受信機の受信可能距離を上回ったり、障害により電波を受信しにくかったりする場所に設置してください。

2 電源について

通常のご使用時は必ずACアダプタを接続し、電源LEDが点灯していることをご確認ください。

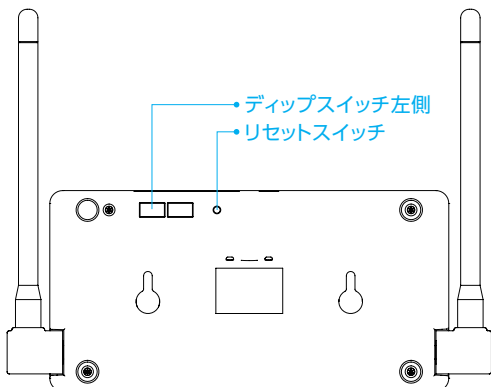
3 ステータス表示



電源LED1 (赤色)	電源LEDで給電時点灯します。
LED2 (緑色)	メインCH 送信機からデータ受信したとき点灯します。
LED3 (黄色)	サブCH 受信機からデータ受信したとき点灯します。
LED4 (赤色)	サブCH受信機からデータ受信し、メインCH送信機へデータ送信したとき点灯します。
7セグDot (赤色)	サブCH 中継機からのエリア内の受信機へデータ送信したとき点灯します。
7セグディスプレイ (緑色)	ソフトバージョン、メインチャンネル、機台番号を約3秒間表示します。
7セグディスプレイ (赤色)	電波強度を数値表示します。数値が小さいほど電波強度が強い表現です。

ディップスイッチ

機能設定は本体のディップスイッチで行います。
 設定モードはありません。



中継機本体裏面のディップスイッチ (左側) で、以下の機能が設定できます。
 ※右側のディップスイッチは、絶対に変更しないでください。

機台番号設定 (1-8) 予備 (1-8) 電波強度表示時間設定用 (7-8)

ON/OFF buttons for channel setting (1-8) and power strength display time setting (7-8).

■機台番号設定 ■電波強度表示セレクト

中継機1 (5) 中継機2 (5) 表示OFF (7, 8) 更新時 約2秒間表示 (7, 8) 常時表示 (7, 8) 更新時 約2秒間表示 (7, 8)

※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

送信機の機能設定 / 詳細設定

ディップスイッチ

送信機本体裏面のディップスイッチで、以下の機能が設定できます。

給電時の受信機履歴消去の有無
 チャンネル設定用
 中継機の使用の有無
 ブザー機能の有無
 生産検査用

■給電時及びリセットボタンを押した時の受信機履歴消去の有無
 あり なし
 ON ON
 OFF OFF

■中継機の使用の有無
 なし あり
 ON ON
 OFF OFF

■ブザー機能の有無 (ブザー音量は「大」に固定)
 あり なし
 ON ON
 OFF OFF

※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。
 ※給電とはACアダプタの電源投入時のことです。

受信タイムアウト時間を設定する

呼び出しても反応がない場合、呼び出しを中断するまでの時間を設定します。「60秒」、「90秒」、「120秒」、「180秒」、「無限」の5パターンから選択できます。

①設定モードにする

電源ON中に [電源ボタン] と呼び出し用キーの [C] ボタンを約3秒間同時に長押しすると、設定モードに移行し、設定メニュー画面が表示されます。

送信機設定モード
設定項目番号を入力して下さい
1: 受信タイムアウト時間
呼出: 終了

②受信タイムアウト時間を設定し記録する

①メッセージ用キーまたは呼び出し用キーで [1] ボタンを押すと下の画面に移行します。

送信機設定モード
受信タイムアウト時間 4
0: 無限
1: 60秒 2: 90秒
3: 120秒 4: 180秒
呼出: 終了 / 決定: 決定

②メッセージ用キーまたは呼び出し用キーで希望の受信タイムアウト時間番号を入力し、[決定] ボタンを押します。

送信機設定モード
受信タイムアウト時間 4
0: 無限
1: 60秒 2: 90秒
3: 120秒 4: 180秒
呼出: 終了 / 決定: 決定

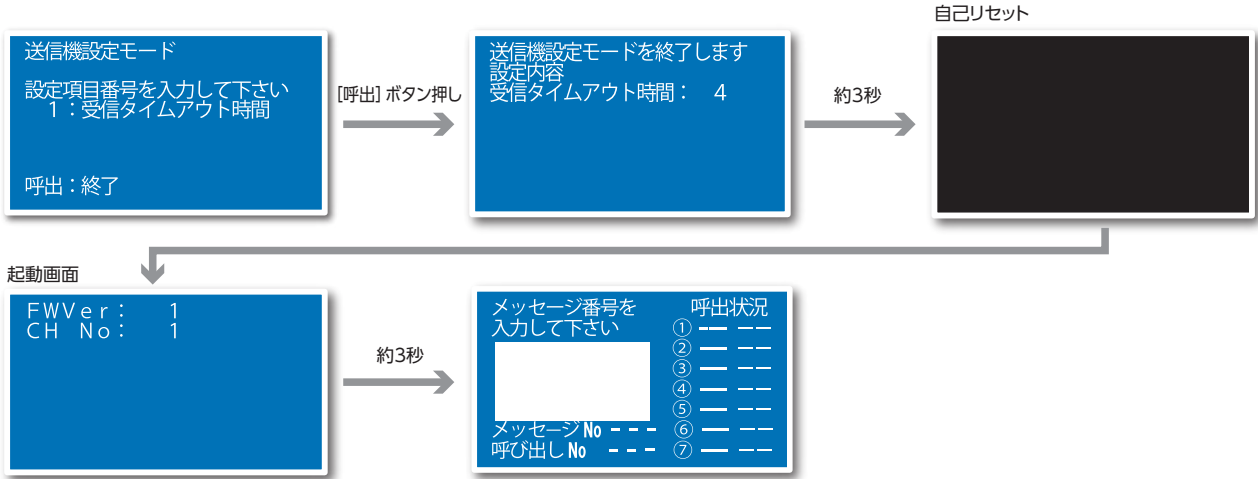
[決定] ボタン押し

送信機設定モード
設定項目番号を入力して下さい
1: 受信タイムアウト時間
呼出: 終了

設定モードを終了する

送信機設定モード中に、呼び出し用キー [呼出] ボタンを押すと終了します。

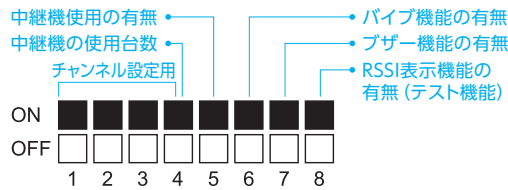
「終了します」のメッセージと設定内容を約3秒間表示した後、自己リセットを行い、起動画面を表示し、メッセージ番号入力画面に移行します。



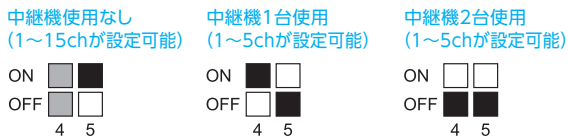
受信機の機能設定 / 詳細設定

ディップスイッチ

受信機本体裏面のビスを外して裏板を外します。
ディップスイッチで、以下の機能が設定できます。



■ 中継機使用台数・中継機使用の有無・設定可能チャンネル数



(ONまたはOFF) ※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

■ パイプ機能の有無 (パイプは「大」に固定)



■ ブザー機能の有無 (ブザー音量は「大」に固定)



受信機の詳細設定の前に

受信機の詳細設定は、送信機を使用して無線で行ないます。受信機の設定は、同時に複数台の設定が可能です。

【ご注意】 あらかじめ送信機と受信機は、それぞれ本体のディップスイッチで同一チャンネルに設定して下さい (ディップスイッチによるチャンネル設定はP17を参照)。

機台番号を変更する

① 受信機の電源を入れる

機台番号を変更する受信機の電源を入れてください。

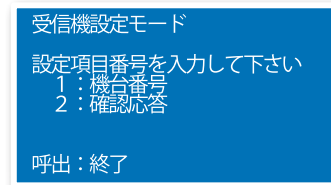
設定は電池残量が十分ある状態で行ないます。設定中に電池が切れたり電源OFFになると、正常にデータを記録できず障害の原因になることがあります。

②設定モードにする

送信機の電源ON中に[電源ボタン]と呼び出し用キーの[AC]ボタンを約3秒間同時に長押しすると、送信機と受信機は設定モードに移行し、設定メニュー画面が表示されます。



送信機「設定メニュー」画面



受信機画面



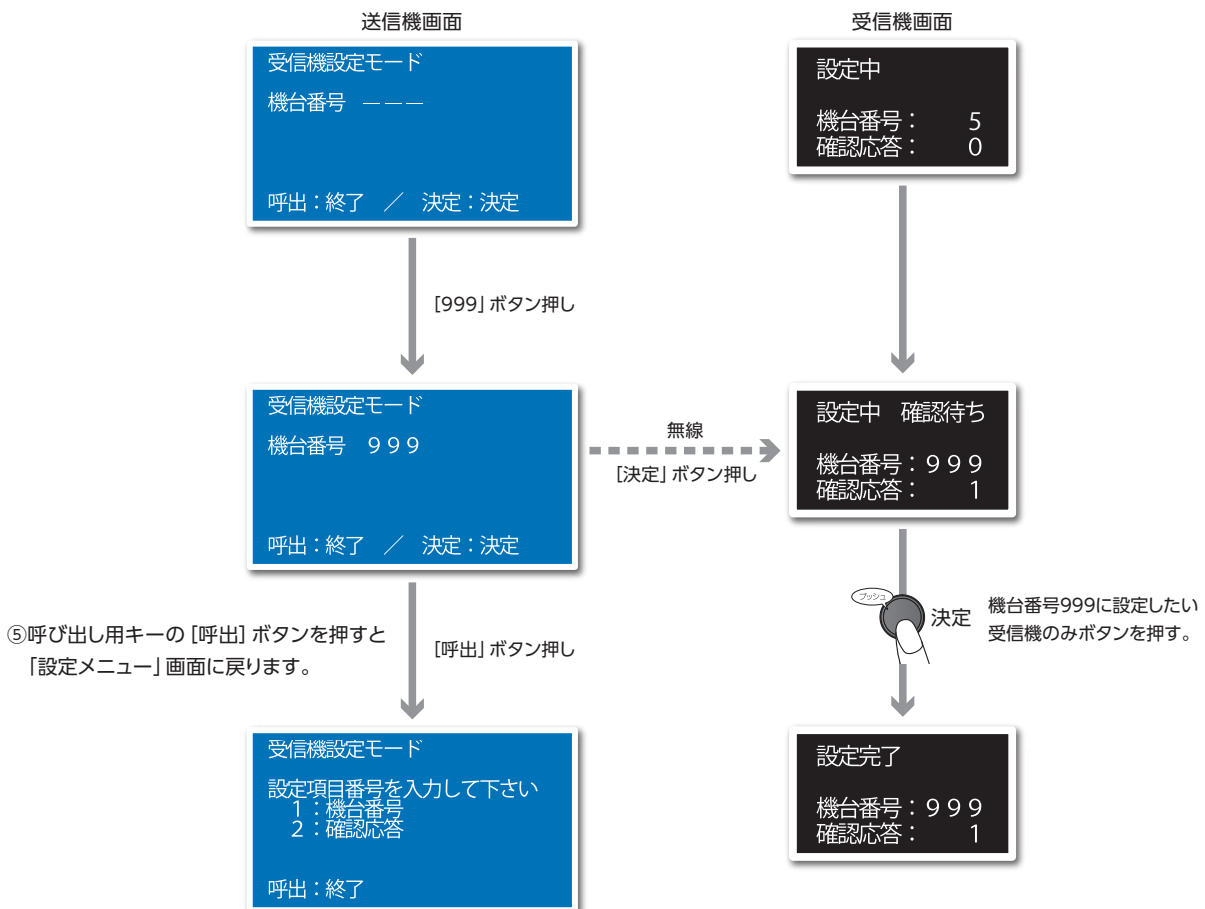
上の画面は機台番号がすでに5番に設定されている受信機です。

送信機には「受信機設定モード」が表示されます。

受信機は、送信機の設定モード要求を受信すると「設定中」を表示します。

③機台番号を設定し記録する

- ①メッセージ用キーまたは呼び出し用キーで「1」ボタンを押すと機台番号設定画面に移行します。
- ②メッセージ用キーまたは呼び出し用キーの「1～9」ボタンを使って、1～999までの番号を入力します。
- ③メッセージ用キーの「決定」ボタンを押すと、全ての無線で受信機に設定データを送信します。
受信機は、設定データを受信し画面に表示します。
- ④受信機の確認ボタンを押すと、「設定中 確認待ち」表示から「設定完了」表示となり、機台番号の設定が完了します。



⑥続けて確認応答を設定できますが、ここで終了したい場合は[呼出]ボタンで終了します。

【ご注意】2台以上の受信機に同じ番号を設定するとトラブルの原因となりますので、同じ番号を使わないようご注意ください。

確認応答を設定する

確認応答を有効に設定すれば、受信機がメッセージを受け取ったことを送信機の画面で確認することができます。

①受信機の電源を入れる

同時に複数台の設定が可能です。設定するすべての受信機の電源を入れてください。

②設定モードにする

電源ON中に[電源ボタン]と呼び出し用キーの[AC] ボタンを約3秒間同時に長押しすると、送信機と受信機は設定モードに移行し、設定メニュー画面が表示されます。

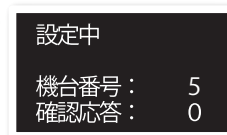
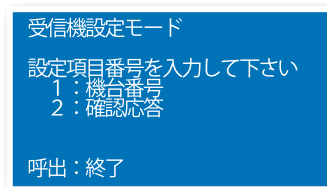


送信機「設定メニュー」画面

受信機画面

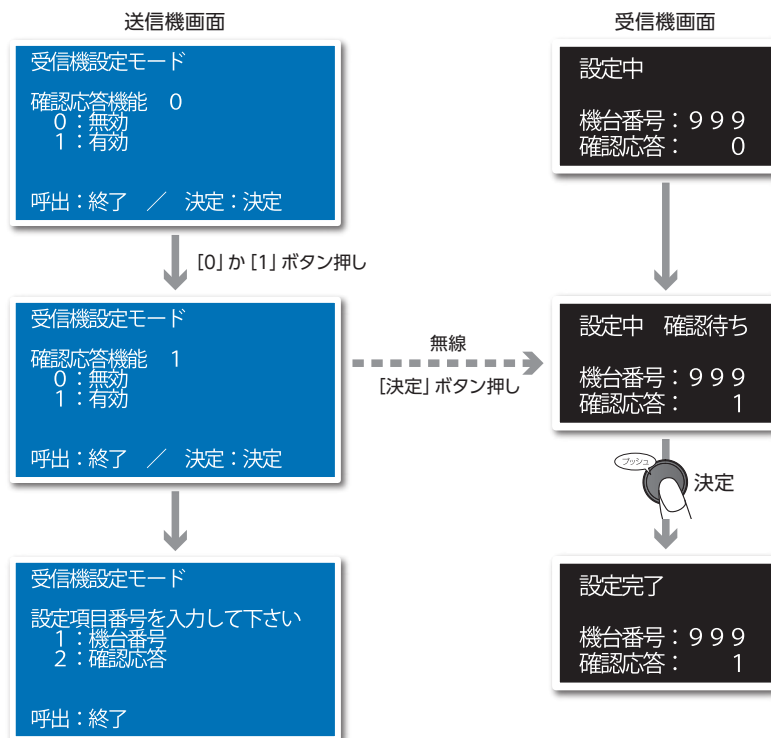
送信機には「受信機設定モード」が表示されます。

受信機は、送信機の設定モード要求を受信すると「設定中」を表示します。



③確認応答を設定し記録する

- ①メッセージ用キーまたは呼び出し用キーで「2」ボタンを押すと確認応答設定画面に移行します。
- ②メッセージ用キーまたは呼び出し用キーで「0」か「1」ボタンで入力します。
- ③メッセージ用キーの[決定]ボタンを押すと、無線で受信機に設定データを送信します。
受信機は、設定データを受信し画面に表示します。
- ④受信機の確認ボタンを押すと、「設定中 確認待ち」表示から「設定完了」表示となり、確認応答の設定が完了します。

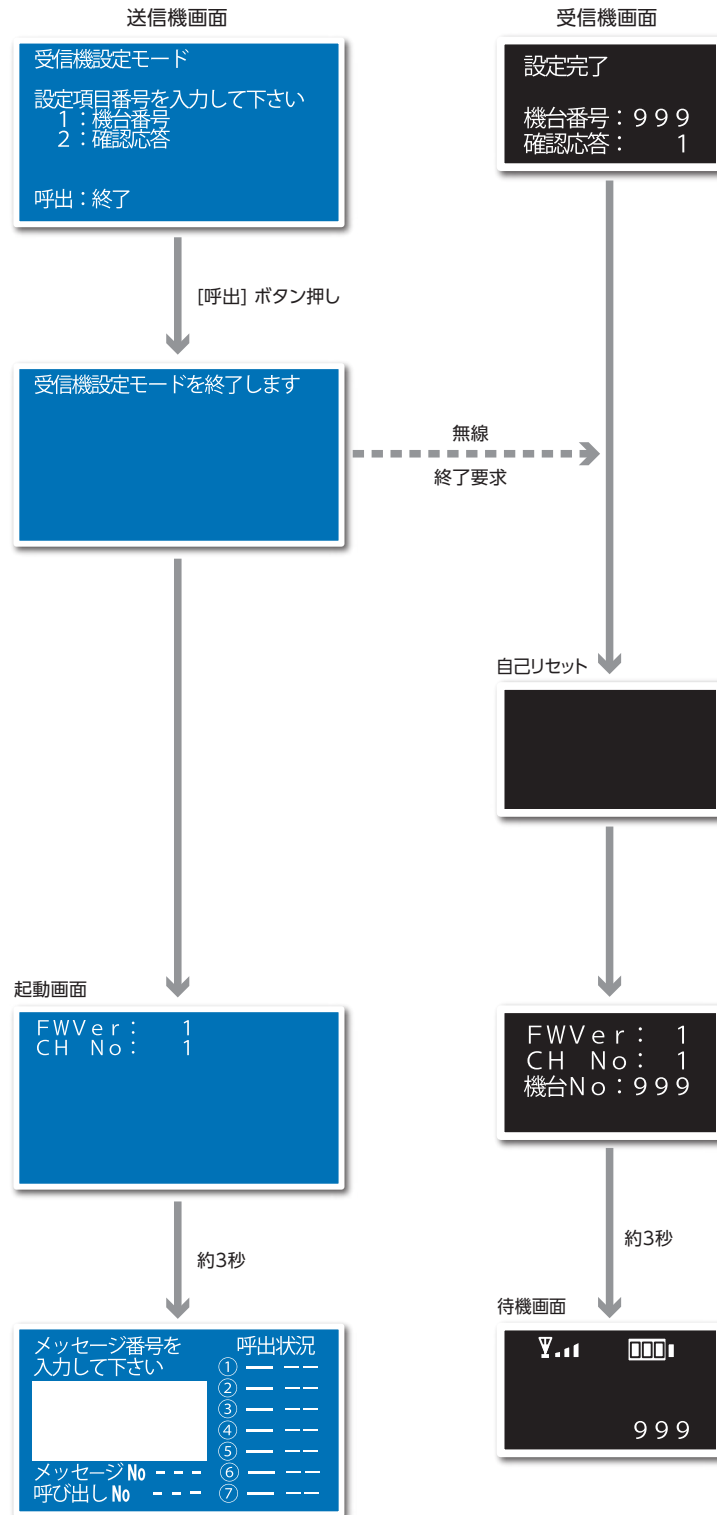


⑤終了したい場合は[呼出]ボタンで終了します。

設定モードを終了する

受信機設定モード中に、呼び出し用キー [呼出] ボタンを押すと終了します。

「終了します」のメッセージと設定内容を約3秒間表示した後、自己リセットを行い、起動画面を表示し、待ち受け画面に移行します。



メッセージデータの書き換え

専用のPCアプリを使えば、送信機と受信機に表示される256個のメッセージデータを書き換えることができます。作業は次の手順で行ないます。

- ①専用PCアプリをパソコンにインストールする。
- ②パソコン上でメッセージデータを書き換える。
- ③パソコンのメッセージデータを送信機に転送する。
- ④送信機のメッセージデータを受信機に転送する。

PCアプリでメッセージデータを書き換える

パソコンに専用PCアプリをインストールし、PCアプリ上でメッセージデータを書き換えます。

※PCアプリで作成済みの256個のメッセージデータをPCアプリ制御で送信機に書き換えます。

※詳細はPCアプリの説明書をご覧ください。

送信機にメッセージデータを転送する

①送信機とパソコンを接続する

送信機とメッセージデータの書き換えが完了したパソコンをUSBケーブルで接続し、送信機の電源をONにします。



②送信機のメッセージデータを書き換える

①パソコン側のPCアプリの指示に従って操作を行い、送信機にメッセージデータを転送します。

※メッセージの書き換えは約30秒で完了します。

※256個のメッセージを一括で書き換えます。個別の書き換えはできません。

※PCアプリ側の管理となるので、送信機側の画面表示はありません。

※詳細はPCアプリの説明書をご覧ください。

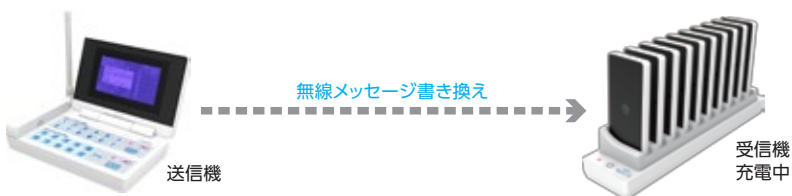
②メッセージ書き換え終了後に、送信機の電源の抜き差しまたは、リセットスイッチを押してください。

受信機にメッセージデータを転送する

①受信機を充電器にセットし充電中にする

受信機のメッセージ書き換えは、受信機を充電器にセットし、充電中の状態のみ可能です。

送信機を操作して、複数台の受信機に無線通信でメッセージデータの書き換えを行ないます。



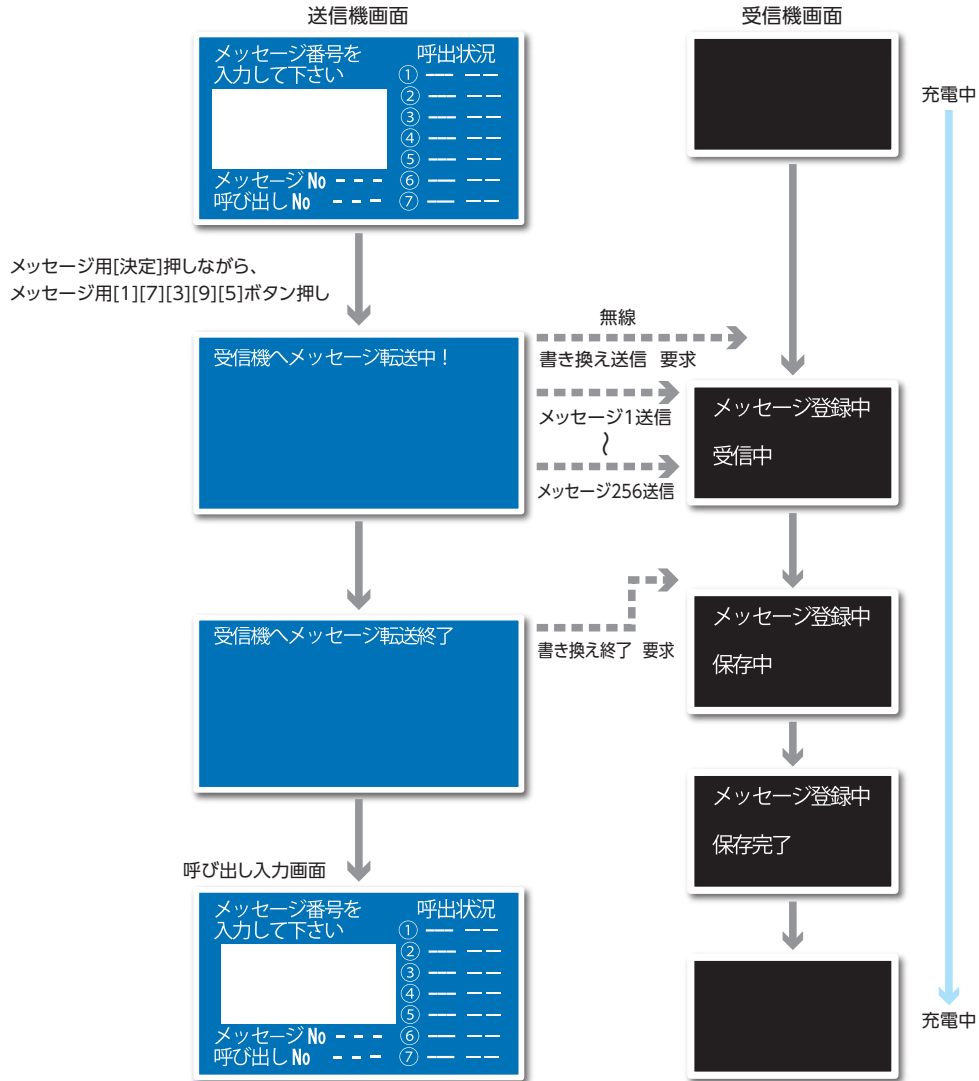
②受信機にメッセージデータを転送する

①送信機のメッセージ用[決定]キーを押しながら、約10秒以内にメッセージ用テンキー「1」「7」「3」「9」「5」を順番に押し、送信機は受信機に向けてデータ転送を始めます。

※メッセージの転送は約30秒で終了します。

※256個のメッセージを一括で書き換えます。(PCは使用しません。)

②メッセージ転送が終了すると、送信機は呼び出し入力画面となり、受信機は充電中となります。



③エラー表示について

①受信機を充電器にセットしていない場合は、受信機画面にエラーメッセージが約30秒間表示されます。受信機を充電器にセットし、もう一度送信機からメッセージ書き換え操作を実行してください。

充電器に設置して
やり直して下さい

②充電中にもかかわらず転送異常が発生した場合は「登録エラー」メッセージを表示します。

※メッセージ書き換えが出来なかった受信機は、充電器から取り外しても「登録エラー」画面は消去しません。

「登録エラー」のあった受信機をもう一度充電器にセットし、送信機からメッセージ書き換え操作を実行してください。

メッセージ登録中
登録エラー

チャンネル設定

チャンネル用ディップスイッチの設定

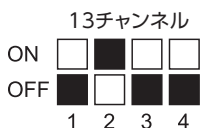
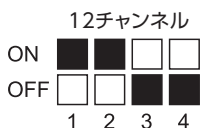
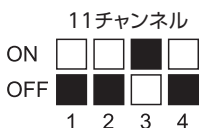
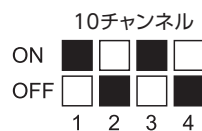
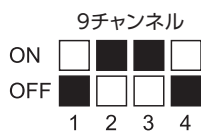
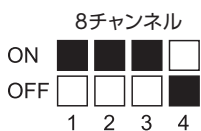
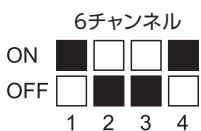
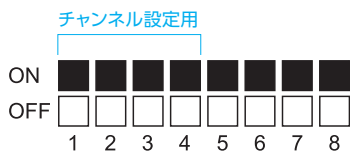
送信機と受信機、中継機のチャンネルディップスイッチは共通です。

送信機と受信機は、中継機を使用しない場合、1～15chの設定ができます。

中継機を使用する場合は、1～5chを設定します (6～15chは設定しないでください)。

中継機は、1～5chの設定となります。

チャンネル毎のスイッチ設定は下記の通りです。



※チャンネルを変更する場合は、使用製品を全て同じチャンネルに変更する必要があります。

※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

仕様

送信機	受信機	充電器	中継機
型式:RR-100	型式:RR-200	型式:RR-300	型式:RR-400
サイズ:214 (W)×151 (D)×43 (H)mm	サイズ:60 (W)×123 (D)×13 (H)mm	サイズ:80 (W)×305 (D)×61 (H)mm	サイズ:224.5 (W)×177 (D)×28 (H)mm
重量:約860g	重量:約115g (電池パック含む)	重量:約530g	重量:約285g
電源:100V DC6Vアダプタ	電源:リチウムイオン電池3.8V 1800mAh	電源:100V DC12Vアダプタ	電源:100V DC6Vアダプタ
周波数:920.60～923.40MHz	周波数:920.60～923.40MHz	方式:接点充電	周波数:920.60～923.40MHz
チャンネル:15チャンネル (中継機使用時は5チャンネル)	チャンネル:15チャンネル (中継機使用時は5チャンネル)		チャンネル:5チャンネル
空中線電力:20mW特定小電力	連続待ち受け時間:約36時間		空中線電力:20mW特定小電力
	充電時間:約5時間		
	空中線電力:20mW特定小電力		

お手入れ方法

⚠ 警告 | 感電のおそれがありますのでお手入れの前には電源プラグを抜いてください。

- 汚れが気になる場合は、固く絞った柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合には、薄めた食器用中性洗剤を含ませた布でふいた後、固く絞った柔らかい布でよくふいてください。
(特に冬場は静電気の影響でホコリが付きやすくなることがあります)

⚠ 警告 | 火災や感電のおそれがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

⚠ 注意 | ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください。
(プラスチックが割れてケガをするおそれがあります)

故障かな?と思ったら

- 送信機の画面に何も表示されない。
 - ▶ 送信機とACアダプタが接続されており、かつACアダプタがコンセントに差し込まれているか確認してください。
- 送信機で呼び出してもいないのに受信機が動作する。
 - ▶ 近くで同機種(リモートブライコール)の同チャンネルを使用していませんか?
チャンネル設定の変更が必要です。設定変更は全ての使用機器で行います。

※問題が解決しない場合には販売店にご相談ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここで記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害、損害を未然に防止するためのものです。
- 本製品はあくまで連絡用です。生命維持などの用途には使用しないでください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負うおそれが想定される内容を示しています。

- お手入れの前には電源プラグを抜いてください(感電のおそれがあります)。
- コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりする時は使用しないでください(感電やショートして発火することがあります)。
- コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください(感電やショートして発火することがあります)。
- 製品に水や洗剤をかけないでください。
- 水のかかるところや、湿気の多い場所には設置しないでください(火災や感電のおそれがあります)。
- 修理技術者以外の人は、分解をするほか、修理・改造は行わないでください(火災や感電のおそれがあります)。
- コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にホコリが付着している場合は、よく拭いてから使用してください(火災や感電のおそれがあります)。
- 煙が出たり、変な臭いや音が出たりするときは使うのをやめ、電源プラグを抜いてください(火災や感電のおそれがあります)。
- 内部に水や異物などが入った時や外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しは行わないでください(感電の原因となります)。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負うおそれ及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください(感電やショートして発火することがあります)。
- 不安定な場所や火気の近くでは使用しないでください(変形・故障の原因となります)。
- 送信機・中継機を移動させるときは、アンテナを折りたたんでから移動させてください(アンテナが折れたり、アンテナの先でけがをしたりする原因となります)。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください(火災の原因となります)。
- 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください(火災や感電のおそれがあります)。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 通気孔をふさがないでください(火災や故障の原因となります)。
- 磁気を帯びたものを近づけないでください(故障の原因となります)。
- 送信機から中継機・受信機への電波到達距離は、外部環境によって異なります。
- 高温、多湿、ホコリの影響を受けない場所に設置してください。
- 受信機以外の製品は防水ではありません。単独での屋外設置は避けてください。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げから1年間です。

■補修用性能部品の最低供給年限

この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後5年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点に関するご相談

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■修理を依頼される場合

「故障かな?と思ったら」にしたがってお確かめいただき、なお問題が解決しないときは、電源を切り、販売店にご連絡ください。

■保証期間中

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。

保証書

本書は、本件商品「リモートリプライコール」に対して、性能及び通常有すべき安全性を有することを保証するものです。但し、使用先での設置状況や使用状況により生じた、性能及び安全性を阻害する場合は、その責任を負わないものとします。

保証期間は、本件商品を出荷した日から1年間とし、品質上の瑕疵、欠陥があった場合は、代替交換若しくは無償で修理を行うものとします。この場合は、輸送による方法としその送料は、メーカーの負担とします。

次の事由による場合は、1年以内であっても保証の対象とはいたしません。

1. 災害又は事故による破損 2. 盗難による喪失 3. 故意又は不可抗力による破損・喪失

保証期間が過ぎている場合は、希望により有料にて、可能な限り修理させていただきます。この場合は、ご購入された販売代理店に申し出てください。

本件商品の補修は、製造終了後5年とします。

保証を受ける場合は、同封の保証書（コピー可）と、対象商品を送ってください。なお、保証書を紛失された場合は、対象にならない場合があります。

※保証書のお客様の住所・氏名・電話番号の記入は、必須です。

品名	リモートリプライコール			
無料修理保証期間	1年	出荷日	年	月 日
お客様	住所 〒			
	TEL			
	氏名			
販売店名				様
				印